

雪崩対策工等の被害状況調査（2004 年 11 月 4 日）の概要

— 新潟県中越地震・雪氷災害調査検討委員会（日本雪氷学会・日本雪工学会）との合同調査 —

1．調査目的

- (1) 雪崩対策工の損傷度の把握
- (2) 崩壊斜面における雪崩発生危険度の把握

2．調査対象

道路および集落

3．参加者

和泉薫・河島克久・伊豫部勉（新潟大学積雪地域災害研究センター）
西村浩一・平島寛行（防災科学技術研究所・長岡雪氷防災研究所）
上石勲（㈱アルゴス雪氷技術センター）
宮崎伸夫（㈲クライメットエンジニアリング）
安間荘（㈱建設基礎調査設計事務所）
Chris Keylock（リース大学）

4．調査ルート

図 1 参照

5．調査結果の概略

- (1) 国道沿線の雪崩予防柵の一部が土砂に押し出されたが、既に復旧作業が行われている（国道 17 号線，川口町天納，写真 1）。
- (2) 県道脇の斜面が崩壊している。崩壊斜面からの雪崩発生の可能性あり。（県道 196 号線，小千谷市内ヶ巻，写真 2）。
- (3) 小千谷市岩沢のスノーシェッドには損傷がみられない（国道 117 号線）。
- (4) 雪崩予防柵が落石（2～3m 大）を受け止めている（国道 252 号線，十日町市市之沢，写真 3）。
- (5) 表層崩壊で雪崩予防柵が基礎ごと流されている（国道 252 号線，十日町市飛渡一小学校付近，要応急処置箇所，写真 4）。
- (6) 雪崩防護柵上部の斜面が崩壊し，土砂が柵で止まっている（県道 445 号線，小千谷市若栃，写真 5）。
- (7) 若栃小学校のグラウンドに隣接する斜面が崩壊し，雪崩予防柵が主柱の下部でねじ切れた状態で大半が落下している。小学校の側面及び裏の斜面も崩壊している（小千谷市若栃，写真 5）。

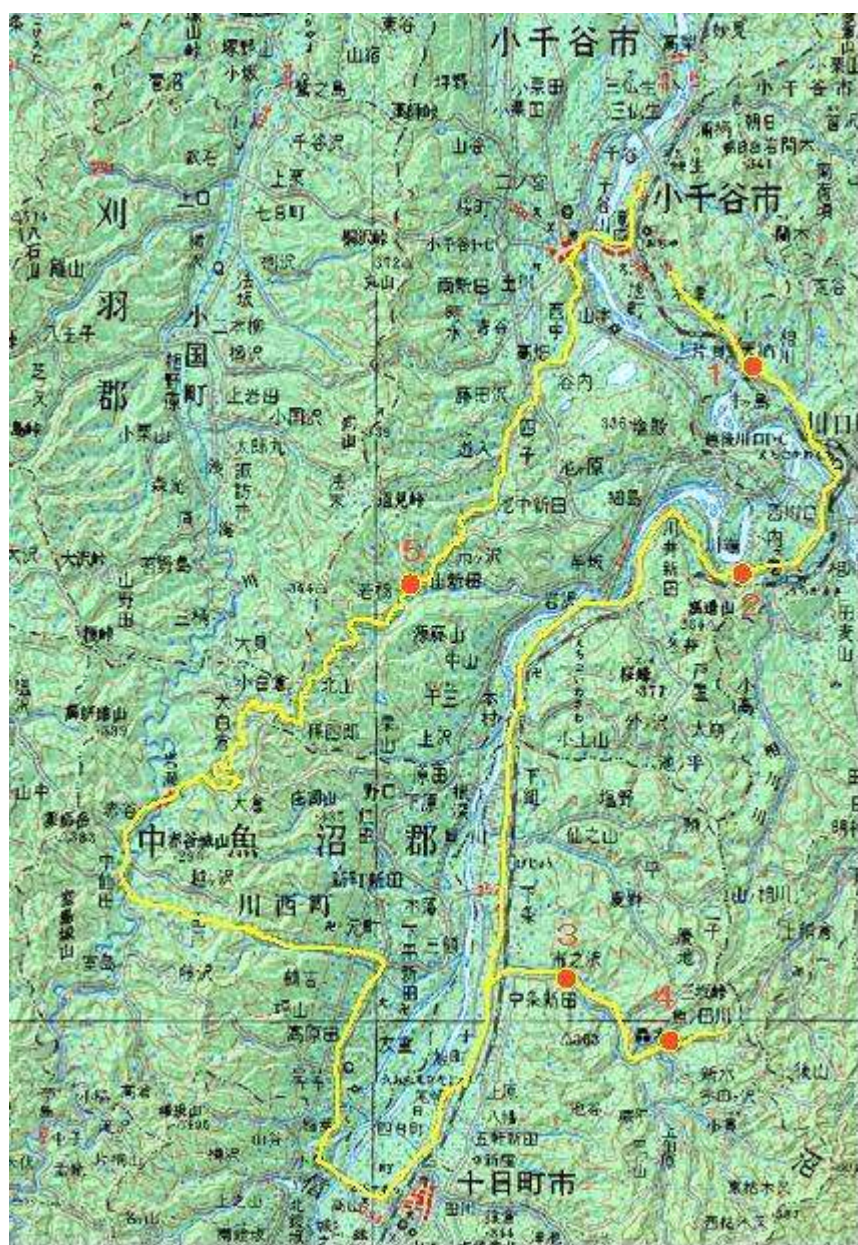


図1 調査ルート（図中の番号は調査地点を示す）



写真1 川口町天納付近（調査地点1）



写真 2 十日町市内ヶ巻付近（調査地点 2）



写真 3 十日町市市之沢付近（調査地点 3）



写真 4 十日町市飛渡一小学校付近（調査地点 4）



写真 5 小千谷市若栃付近（調査地点 5）



写真 6 小千谷市若栃小学校付近（調査地点 5）